ぽっぴぃが旧市電鉄北線の歴史をインタビュー

おかえり市電のふるさとへ

かつての市電の車庫跡に建つ札幌サンプラザ（北24西5）前に、この4月、市電車両が設置されたのをご存じですか？
今月は、昭和49年に廃止されるまで、区民の足として活躍した市電鉄北線の歴史を、北24条商店街振興組合の小泉理事長に伺いました。

写真（上）：北 24 条にあった停留場（昭和 47 年撮影）
（中）：札幌サンプラザ前の車両「市電 248 号」
（下）：6 月 11 日に行われた市電お披露目式の様子

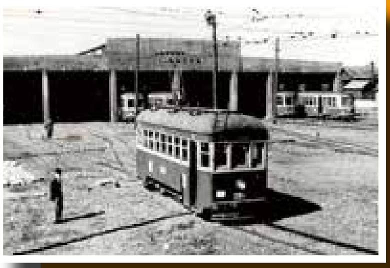
昭和 36 年から北 24 条でお店を営む
小泉（こいずみ）　詔信（あきのぶ）　さん

なぜ北24条に市電の車両を置くことになったの？

市電が活躍した場所で、かつての幌北車庫の跡地（札幌サンプラザ）に市電を設置し、地域活性化に役立てるというプロジェクトがあったからだよ。この車両は、北24条商店街振興組合に寄贈されたものなんだ。

北区にも市電が通っていたって本当？

市電鉄北線は札幌駅前から新琴似駅前まで通っていたんだ。当時は通勤・通学の人で毎日にぎわっていて、車両を連結させて走ることもあったよ。



▲幌北車庫（札幌市交通局所蔵）

市電の駅を中心にまちづくりが進んだの？

馬車が通るような砂利道だったのが、市電が通ってから舗装化が進み、商店や飲食店も増えていったんだ。北24条が「北のススキノ」と呼ばれた時期もあったんだよ。

今後、市電車両はどんなふうに活用されるの？

小学生の絵の展示などの子ども向け企画やイベントの開催を考えているよ。車両が地域のシンボルになって、多くの人が集うコミュニティーができたらうれしいね。

▶当時の市電路線図（北区部分）

市電鉄北線の歴史

昭和 2(1927) 年に開通。新琴似地区をはじめとする宅地化とともに北部へ延長し、昭和 39(1964) 年には新琴似駅前までの総延長 5,228 m と当時の市内の路線で最長のものとなった。
重要な交通機関として市民に活用されたが、昭和 46(1971) 年の地下鉄南北線開通に伴い、徐々に路線を縮め、昭和 49(1974) 年には全線が廃止された。

広告